

50 タイワンヒライソモドキ (モクズガニ科)

兵庫県ランク:B

Ptychognathus ishiii

環境省ランク:指定なし

種の概要

静岡県から沖縄県にかけて分布し、河川汽水域や内湾の転石下に生息する。甲幅10~15mmほどの小型種で、甲は平滑、額角は幅広く中ほどがわずかにくぼむ。近似種のケフサヒライソモドキに似るが、雄のハサミ脚の両指の基部には長い軟毛がより幅広く密生する。歩脚の前節と指節には短い剛毛が密生するとともに、長い毛も散在する。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

姫路市、たつの市、豊岡市、洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。本県では、淡路島の北部、中部の小河川、揖保川、及び円山川で確認されている。河川汽水域や干潮時に河川水の流れ(湧水を伴っている?)ができる干潟の転石下で確認されやすい。流程における生息範囲は局所的であり、小規模な工事においても生息地は消失しやすい。

保護上の留意点

淡路島における小河川は改修の程度が著しく進行しており、両岸もしくは底床はコンクリート護岸が施されていることから、底生動物の生息できない川が大半となっていることで、既知産地でも周辺状況から楽観視できない。特に湧水を伴う小河川の下流域の保全と延長上の干潟の保全が不可欠である。



写真提供：為後智康



※撮影個体は県外産

写真提供：西宮市貝類館

【執筆者】 増田修